

- 問1 1825年に出された異国船打払令から、1854年の日米和親条約締結に至るまでの期間に、清（中国）で発生した出来事について説明したものと
して正しいものはどれか。（2023年 徳島県公立入試 類似）
1. 清の内部で洪秀全が「太平天国」を建国し、大規模な反乱が起きた。
 2. 朝鮮半島の支配権をめぐる日本と清の間で戦争が起き、日本が勝利した。
 3. 清の排外主義的な団体が北京の公使館を包囲し、連合軍に鎮圧された。
 4. アヘンの密輸問題をめぐってイギリスと清の間で戦争が起き、清が敗れた。
- 問2 1861年から始まったアメリカの南北戦争の最中、ゲティスバーグでの演説において「人民の、人民による、人民のための政治」という言葉を述べ、民主主義の原点を示した大統領は誰ですか。（2018年 茨城県公立入試 類似）
1. ジョージ・ワシントン
 2. トマス・ジェファソン
 3. フランクリン・ルーズベルト
 4. リンカン
- 問3 1825年から1856年までの外交上の出来事をまとめた年表において、1842年に幕府が「薪水給与令」を出して外交方針を和らげた背景として、最も適切な事実はどれですか。（2020年 高知県公立入試 類似）
1. イギリスがアヘン戦争で清を破ったニュースが日本に伝わったこと
 2. アメリカのペリーが浦賀に来航し、開国を強く求めたこと
 3. 生麦事件が発生し、イギリスとの間で軍事的な緊張が高まったこと
 4. 日清戦争で日本が清に勝利し、下関条約が結ばれたこと
- 問4 江戸幕府の第15代将軍である徳川慶喜が「大政奉還」を行った背景や目的の説明として、最も適切なものはどれですか。（2023年 福井県公立入試 類似）
1. 欧米列強との不平等条約を改正するために、幕府の権限をすべて天皇に譲渡して責任を回避しようとした。
 2. 武力による倒幕を目指す勢力の口実をなくし、天皇を中心とした新しい政治体制の中で徳川家が実権を維持しようとした。
 3. 全国の藩主に対して土地と人民を天皇に返還させ、天皇が全国を直接統治する仕組みを整えるために行った。
 4. 関白や摂政といった古い役職を廃止し、総裁・議定・参与の三職を置く新たな政府を樹立することを目的とした。
- 問5 イギリスが清に対してアヘン戦争を仕掛ける背景となった、当時の貿易状況を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 佐賀県公立入試 類似）
1. 清がイギリスから綿織物を大量に輸入したため、貿易赤字に苦しんだイギリスが武力で市場を広げようとした。
 2. イギリスが自国の工業製品を清に売るため、清の特産品であったアヘンの輸入を禁止しようとした。
 3. 清がイギリスとの自由貿易を求めて開国を迫ったのに対し、自国産業を保護したいイギリスが拒否して開戦した。
 4. イギリスが輸入する茶の代金として支払う銀が不足し、その回収のためにアヘンを密輸した。
- 問6 1858年、徳川幕府の老老が天皇の許し（勅許）を得ないままアメリカと結び、横浜を含む5つの港を開くことを決めた条約の名称として正しいものを、次の中から選びなさい。（2017年 茨城県公立入試 類似）
1. 日米修好通商条約
 2. 日米和親条約
 3. 日米安全保障条約
 4. 下関条約
- 問7 19世紀半ば、イギリスが清との貿易における赤字を解消するためにアヘンを密輸し、これを取り締まろうとした清に対してイギリスが軍事攻撃を仕掛けたことで始まった戦争は何か、選びなさい。（2021年 岡山県公立入試 類似）
1. 義和団事件
 2. 太平天国の乱
 3. 辛亥革命
 4. アヘン戦争
- 問8 イギリスとインドの歴史的経緯をまとめた記録において、18世紀から19世紀にかけて、インドからイギリスへ綿織物を輸出する形から、逆にイギリスからインドへ綿製品が大量に流入する形へと貿易構造が変化しました。この変化をもたらした最大の要因として正しい説明を選びなさい。（2023年 三重県公立入試 類似）
1. 東インド会社がインド全域での棉花栽培を中止し、食料増産を優先させたため。
 2. フランスとの植民地抗争に勝利したイギリスが、インドの全港を封鎖したため。
 3. インド大反乱の結果、イギリス政府がインドでの綿織物生産を法律で禁止したため。
 4. イギリスで産業革命が起こり、安価な機械製の綿製品が大量生産されるようになったため。
- 問9 産業革命期に成立した「工場制機械工業」と、それに伴う人口の動きについて正しく述べたものはどれですか。（2019年 長野県公立入試 類似）
1. 機械化により労働力が必要なくなったため、人々は仕事を求めて都市から離れ、全国各地の農村へ分散して定住するようになった。
 2. 蒸気機関などの動力を利用した機械が工場に導入されたことで大量生産が可能になり、多くの労働者が集まった都市へ人口が集中した。
 3. 工場での生産が衰退した代わりに、自宅で製品を加工する家内工業が中心となる産業となり、都市の人口は減少に転じた。
 4. 手作業を中心とする工場に多くの労働者が集まって分業を行う形態が普及し、農村部での人口増加が顕著になった。
- 問10 開国後の貿易において、日本に大量に輸入された安価な工業製品によって、当時の日本の国内産業が大きな打撃を受けた事例として正しいものはどれですか。（2017年 徳島県公立入試 類似）
1. アメリカから安価な麦が輸入され、日本の米作農家が転作を余儀なくされた。
 2. イギリスなどから安価な綿織物が輸入され、日本の伝統的な綿織物業が衰退した。
 3. オランダから安価な鉄砲が輸入され、国内の刀鍛冶が職を失った。
 4. 清（中国）から安価な生糸が輸入され、日本の養蚕業が壊滅的な被害を受けた。
- 問11 幕末の1850年代後半、江戸幕府が欧米諸国と通商条約を結んで開国を進めた際、これに反対する勢力の間で高まった政治思想と、その背景にある当時の社会状況について述べたものとして正しいものはどれですか。（2025年 愛知県公立入試 類似）
1. 公武合体運動：元禄文化の成熟による町人の台頭を背景に、天皇と幕府が協力して欧米諸国との不平等条約を改正しようとした。
 2. 自由民権運動：士族の反乱が終結した後の社会情勢を背景に、藩閥政治を批判し、国民の権利を守るための議会開設を求めた。
 3. 尊王攘夷運動：勅許を得ない条約締結への反発や、開港に伴う物価高騰による社会不安を背景に、天皇を尊び外国勢力を排除しようとした。
 4. 文明開化：産業革命による生産技術の向上を背景に、西洋の進んだ制度や文化を取り入れ、幕府の権威を近代化しようとした。
- 問12 倒幕運動が激化する過程で、それまで対立関係にあった薩摩藩と長州藩が、坂本龍馬らの仲立ちによって結んだ協力関係のことを何と言いますか。（2026年 愛知県公立入試 類似）
1. 薩長同盟
 2. 日米和親条約
 3. 日英同盟
 4. 尊王攘夷運動
- 問13 幕末に「世直し」を求める民衆の動きが活発化した背景として、当時の社会状況を最も適切に説明しているものはどれですか。（2026年 千葉県公立入試 類似）
1. 開国にともなう貿易の開始によって物価が急騰し、人々の生活が困窮して社会への不満が高まったため。
 2. 鎖国が強化されたことで外国製品が手に入らなくなり、国内の産業が衰退して失業者が増えたため。
 3. 明治政府による徴兵令や地租改正に反対し、江戸時代の身分制度を維持しようとする動きが強まったため。
 4. 産業革命が進行した結果、都市部に労働者が集中し、労働環境の改善を求める運動が全国に広がったため。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 アヘンの密輸問題をめぐってイギリスと清の間で戦争が起き、清が敗れた。	1840年に始まったアヘン戦争は、江戸幕府が異国船打払令によって外国船を排斥していた時期から、開国へと舵を切るきっかけとなった日米和親条約の間に位置する重要な出来事である。大国である清がイギリスに敗北したという報せは、当時の日本に大きな衝撃を与え、幕府の外交政策に影響を及ぼした。
問2	答え 4 リンカン	19世紀半ばのアメリカ合衆国では、奴隷制の存廃や貿易政策の相違から、北部と南部の対立が激化し、南北戦争が勃発しました。北部を率いたリンカンは、戦争の目的が単なる領土の維持だけでなく、自由と民主主義を守ることにあると演説で強調し、後に「奴隷解放の父」とも称されるようになりました。
問3	答え 1 イギリスがアヘン戦争で清を破ったニュースが日本に伝わったこと	1840年に始まったアヘン戦争で、当時アジアの大国であった清がイギリスに敗北したことは、江戸幕府に大きな衝撃を与えました。このまま異国船打払令による強硬策を続けると、日本もイギリスなどの列強から攻撃を受ける恐れがあると判断した幕府は、方針を転換して薪水給与令を発令しました。
問4	答え 2 武力による倒幕を目指す勢力の口実をなくし、天皇を中心とした新しい政治体制の中で徳川家が実権を維持しようとした。	当時の徳川慶喜は、倒幕派による武力行使を避けるため、形式的に政権を朝廷へ返上しました。その狙いは、天皇のもとに諸藩の代表が集まる議会形式の政治体制を作り、その中で最大の勢力である徳川家が政治の主導権を握り続けることにありました。なお、土地と人民を返上させるのは「版籍奉還」、三職の設置は「王政復古の大号令」に関する記述であり、大政奉還とは時期や内容が異なります。
問5	答え 4 イギリスが輸入する茶の代金として支払う銀が不足し、その回収のためにアヘンを密輸した。	当時のイギリスは清から大量の茶を輸入していましたが、清に売るものがないため大量の銀が清へ流出していました。この貿易赤字を解消するため、イギリスは植民地のインドで生産させたアヘンを清に密輸し、茶の代金として支払った銀を回収する「三角貿易」の仕組みを作りました。清がこのアヘンを厳しく取り締まったことが、アヘン戦争の直接のきっかけとなりました。
問6	答え 1 日米修好通商条約	大老の井伊直弼が朝廷の反対を押し切って調印した条約です。この条約により、それまで開かれていた函館・下田に加え、新たに横浜（神奈川）、長崎、新潟、兵庫の開港が決定しました。領事裁判権を認め、関税自主権がないという不平等な内容を含んでいました。
問7	答え 4 アヘン戦争	イギリスは清から茶を輸入し、銀が大量に流出する貿易赤字に苦しんでいました。これを打開するために植民地のインドから清へアヘンを送り込む「三角貿易」を行いましたが、清がアヘンを没収・廃棄したことで軍事衝突に発展しました。これが東アジアの近代化に大きな影響を与えるきっかけとなりました。
問8	答え 4 イギリスで産業革命が起こり、安価な機械製の綿製品が大量生産されるようになったため。	18世紀後半にイギリスで産業革命が進展すると、工場での機械生産によって安価な綿製品が大量に作られるようになりました。これにより、それまでイギリスが輸入していたインドの伝統的な手織り綿織物は競争力を失い、逆にイギリス製の綿製品がインド市場へ流入することとなりました。この経済的な打撃は、のちのインド大反乱の一因ともなっています。
問9	答え 2 蒸気機関などの動力を利用した機械が工場に導入されたことで大量生産が可能になり、多くの労働者が集まった都市へ人口が集中した。	工場制機械工業は、自然の力（水車など）や人力ではなく、蒸気機関などの強力な動力を活用して機械を動かし、一箇所に集まった労働者が製品を大量に生産する仕組みです。この生産体制の確立は、職を求める人々を都市へ引き寄せ、社会の仕組みを農村中心から都市中心へと大きく変容させました。
問10	答え 2 イギリスなどから安価な綿織物が輸入され、日本の伝統的な綿織物業が衰退した。	幕末の貿易では、日本からは生糸や茶が輸出される一方、イギリスなどの産業革命を経た諸外国からは、機械で生産された安価で高品質な綿織物や綿糸が大量に輸入されました。これにより、日本国内の手工業による綿織物業は価格競争に敗れ、大きな打撃を受けることとなりました。
問11	答え 3 尊王攘夷運動：勅許を得ない条約締結への反発や、開港に伴う物価高騰による社会不安を背景に、天皇を尊び外国勢力を排除しようとした。	1858年に日米修好通商条約が天皇の許可（勅許）を得ないまま結ばれたことや、開国によって国内の物資が不足し物価が急騰したことは、幕府に対する強い不信感を生みました。こうした状況下で、天皇を敬う「尊王」と外国を追い出そうとする「攘夷」が結びつき、幕府を批判する大きな運動へと発展しました。選択肢にある「元禄文化」や「土族の反乱」は時代が異なるため、混同しないよう注意が必要です。
問12	答え 1 薩長同盟	幕府を打倒するために、土佐藩出身の坂本龍馬や中岡慎太郎の仲介により、長州藩の木戸孝允（桂小五郎）と薩摩藩の西郷隆盛らが軍事同盟を結びました。この提携が大きな力となり、後の大政奉還や明治維新の達成へとつながりました。
問13	答え 1 開国にともなう貿易の開始によって物価が急騰し、人々の生活が困窮して社会への不満が高まったため。	幕末の開国後、輸出の急増によって国内の物資が不足し、激しいインフレーション（物価高騰）が起こりました。これに凶作や政治的な混乱が加わり、生活が苦しくなった民衆の間で、現状を打破しようとする「世直し」のエネルギーが蓄積されていきました。これが一揆や「ええじゃないか」といった行動につながりました。

- 問1 1858年に江戸幕府とアメリカの間で締結された条約において、下田・箱館のほか、新たに神奈川・長崎・新潟・兵庫の4港を開港することや、在留外国人が起こした事件をその国の領事が自国の法律で裁く権利を認めることが定められました。この条約の名称として正しいものはどれか。 (2023年 茨城県公立入試 類似)
1. 日米和親条約 2. 日米修好通商条約 3. 日米通商航海条約 4. 下田条約
-
- 問2 1867年に徳川慶喜が政権を朝廷に返したものの、旧幕府側の勢力が依然として政治的影響力を持つことを危惧した薩摩藩・長州藩などの倒幕派が、天皇を中心とする政治体制の確立を目指して発した宣言を何といいますか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 版籍奉還の建白 2. 王政復古の大号令 3. 五箇条の御誓文 4. 廃藩置県の詔書
-
- 問3 不平等条約における「領事裁判権（治外法権）」の内容として、具体的な事例に基づいた説明を選択してください。 (2017年 山口県公立入試 類似)
1. 日本が特定の国と有利な条件で条約を結んだ場合、他の国に対しても自動的に同じ条件を適用しなければならない。
2. 日本の裁判所が外国人を裁く際に、必ず外国人の裁判官を同席させなければならない。
3. 日本国内で外国人が罪を犯した場合、日本の法律ではなく、その外国人の出身国の法律に基づいて領事が裁判を行う。
4. 日本国内に外国人が住むための特別な区域を設け、その区域内では日本の警察権が一切及ばないものとする。
-
- 問4 1853年にペリーが浦賀へ来航した主な目的について、当時のアメリカの時代背景を踏まえた説明として最も適切なものを選びなさい。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
1. 日本国内に眠る金や銀の採掘権を独占し、貿易の決済手段を確保するため
2. キリスト教の布教を全国で認めるよう要求し、宗教的な同盟を築くため
3. 太平洋で活動する自国の捕鯨船などへ、食料や燃料を補給する拠点を確保するため
4. 江戸幕府の軍事力を調査し、日本をアメリカの完全な植民地にするため
-
- 問5 一八五三年に、マシュー・ペリー率いるアメリカの東インド艦隊が、江戸幕府に開国を求める親書を携えて来航した場所はどこですか。相模湾に面した三浦半島の先端付近に位置する、当時の外交上の重要地点の名称を答えなさい。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)
1. 浦賀 2. 長崎 3. 函館 4. 下田
-
- 問6 1858年に調印された日米修好通商条約では、神奈川、長崎、新潟、兵庫などの開港が約束されました。しかし、幕府は兵庫の代わりに、隣接する神戸を実際に開港しました。当時の資料において、兵庫は多くの人々が住み賑わっていた一方、神戸は人家が少なく管理がしやすい場所であったことが示されています。幕府がこのように開港地を調整した主な理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 神戸には既に最新の造船施設が整っており、貿易の拠点として最適だったため
2. 兵庫の住民たちが開港に強く反対し、幕府に対して大規模な一揆を起こしたため
3. 神戸の方が兵庫よりも水深が深く、大型の蒸気船が停泊するのに適していたため
4. 外国人と日本人との不必要な接触や衝突を避け、管理を容易にするため
-
- 問7 1840年に清とイギリスの間で起きた戦争で、大国であった清が敗北したという知らせは江戸幕府に大きな衝撃を与えました。この戦争をきっかけに、幕府がそれまでの「異国船打払令」を改めて、外国船に燃料や水を与えて帰す方針とした際に発令した法令を選びなさい。 (2017年 長野県公立入試 類似)
1. 慶安の御触書 2. 公事方御定書 3. 天保の薪水給与令 4. 武家諸法度
-
- 問8 19世紀半ば、イギリスから清（中国）へ大量のアヘンが密輸出されていたことを発端として、清がアヘンの取り締まりを強化したことで発生した戦争は何か、次の中から選びなさい。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
1. 太平天国の乱 2. アヘン戦争 3. 日清戦争 4. 義和団事件
-
- 問9 アヘン戦争に敗れた清が、1842年にイギリスとの間で結んだ条約の名前として正しいものを、次の中から選びなさい。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
1. ポーツマス条約 2. 北京条約 3. 下関条約 4. 南京条約
-
- 問10 18世紀後半から19世紀にかけて、ロシアをはじめとする欧米の船が日本近海に頻繁に現れるようになりました。これに対し幕府は、1825年に日本沿岸に近づく外国船を無差別に攻撃して追い払う法令を出しましたが、その後、1842年にはこの方針を緩め、薪や水、食料を与える「薪水給与令」を出しました。このように幕府が強硬な姿勢を改める直接のきっかけとなった、清（中国）がイギリスに敗北した出来事は何ですか。 (2026年 青森県公立入試 類似)
1. 日米和親条約の締結 2. アヘン戦争 3. 生麦事件 4. 矢銭の徴収
-
- 問11 幕末に生糸が海外へ大量に輸出されたことは、当時の日本国内の産業にどのような影響を与えましたか。その背景を含めた説明として最も適切なものを選んでください。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
1. 海外から安価な生糸が大量に流入したため、国内の養蚕業が衰退し、米の生産への転換が進んだ。
2. 生糸に代わって茶の輸出が増えたため、絹織物業に代わって製茶業が国内最大の産業となった。
3. 輸出が優先されたことで国内の生糸が不足し、価格が高騰したため、国内の絹織物業が圧迫された。
4. 生糸の輸出で得た利益が絹織物業に還元されたため、最新の機械が導入されて生産効率が飛躍的に向上した。
-
- 問12 1857年から1861年にかけて、江戸幕府はイギリス、アメリカ、ロシアなどの国々と条約を締結し、貿易が本格的に始まりました。これらの国々と結んだ通商条約において、日本側の主権が制限されていた内容の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2026年 山形県公立入試 類似)
1. 日本に外交権がなく、相手国に港の永久割譲を認める内容
2. 日本に関税自主権がなく、相手国に領事裁判権を認める内容
3. 日本に土地所有権がなく、相手国に軍隊の駐留権を認める内容
4. 日本に貨幣鑄造権がなく、相手国にキリスト教の布教義務を認める内容
-
- 問13 1838年に誕生した人物が成長し、1867年に大政奉還の建白が行われるまでの幕末の動乱期において、政治的な出来事が起きた順序として正しいものはどれですか。 (2016年 佐賀県公立入試 類似)
1. 日米和親条約による開港が決定する前に薩摩藩と長州藩が薩長同盟を結成し、その軍事力を背景に安政の大獄と呼ばれる弾圧を幕府に行わせた。
2. 幕府が安政の大獄によって反対勢力を一掃した後に日米和親条約を締結して開港し、その数年後に薩摩藩と長州藩が協力して薩長同盟を結んだ。
3. 薩摩藩と長州藩による薩長同盟が結ばれた後、日米和親条約による開港が実現し、その後に幕府が反対派を抑え込むための安政の大獄を断行した。
4. 日米和親条約の締結による開港が行われ、その後、幕府に反対する勢力を弾圧した安政の大獄が起き、最終的に薩摩藩と長州藩による薩長同盟が結ばれた。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 日米修好通商条約	大老の井伊直弼が朝廷の許可を得ずに調印したこの条約は、日本の裁判権が及ばない「領事裁判権（治外法権）」を認め、日本に「関税自主権」がないなど、日本にとって不平等な内容でした。1854年に結ばれた日米和親条約では薪水の供給などが主目的であり、本格的な貿易と港の追加開港はこの1858年の条約によって始まりました。
問2	答え 2 王政復古の大号令	大政奉還が行われた後、徳川氏が実質的な権力を握り続けることを防ぐために発せられました。この宣言により、江戸幕府の廃止とともに摂政や関白といった従来の官職も廃止され、総裁・議定・参与の三職を置くなど、天皇による新しい政治の仕組みが整えられました。
問3	答え 3 日本国内で外国人が罪を犯した場合、日本の法律ではなく、その外国人の出身国の法律に基づいて領事が裁判を行う。	領事裁判権は、本来その国の主権に属するはずの「裁判権」を他国に譲り渡すものです。これにより、日本人が被害者となる事件が起きても、加害者の外国人が軽い刑罰で済まされるといった不公平な事態が発生しました。この制度の撤廃は、1894年に陸奥宗光がイギリスとの交渉で成功させるまで続きました。
問4	答え 3 太平洋で活動する自国の捕鯨船などへ、食料や燃料を補給する拠点を確保するため	当時のアメリカは、産業用の油を得るための捕鯨を太平洋で盛んに行っていました。そのため、航海を続けるための石炭（燃料）や食料、飲料水の補給地、および遭難した船員の保護を目的として日本の開国を強く求めていました。ペリーの来航は、こうした捕鯨船や清（中国）との貿易航路の中継地点を確保するという経済的・実用的な背景がありました。
問5	答え 1 浦賀	当時のアメリカは、中国との貿易を拡大させる過程で、太平洋を横断する蒸気船の中継地（石炭や水の補給拠点）や、捕鯨船の保護を目的として日本の開国を求めていました。ペリーは、江戸に近い三浦半島の浦賀に黒船で現れることで、幕府に強力な軍事的圧力をかけ、長年の鎖国政策を転換させる契機となりました。
問6	答え 4 外国人と日本人との不必要な接触や衝突を避け、管理を容易にするため	幕府は日米修好通商条約に基づき兵庫の開港を約束していましたが、当時の兵庫は物流の拠点で居住者も多く、外国人が入ることで日本人との間で摩擦や衝突が起きることを懸念しました。そのため、人家が少なく居住範囲を限定しやすい隣接地の神戸を「兵庫の一部」として開港することで、外国人との交流を制限し、トラブルを未然に防ごうとしました。
問7	答え 3 天保の薪水給与令	19世紀半ば、アヘン貿易をめぐる対立から清とイギリスの間でアヘン戦争が勃発しました。この戦争で清が敗れたという情報を得た江戸幕府は、従来の強硬な「異国船打払令」を続けることでイギリスなどの強力な軍事力を持つ国と紛争になることを恐れ、1842年に「天保の薪水給与令」を出しました。これにより、日本近海に現れた外国船を無差別に攻撃するのではなく、薪や水、食料を与えて穏やかに退去させる方針へと転換しました。
問8	答え 2 アヘン戦争	イギリスは自国の貿易赤字を解消するために、植民地のインドで生産させたアヘンを清へ密輸していました。清が国民の健康被害や銀の流出を防ぐためにこのアヘンを厳しく没収・処分したことで、イギリスが軍艦を派遣し、武力衝突に発展しました。
問9	答え 4 南京条約	アヘン戦争の講和条約として結ばれたこの条約により、清は上海など5つの港を開港し、香港の割譲を認めさせられました。これは清にとって非常に不利な内容であり、その後、欧米列強による中国進出が加速するきっかけとなりました。
問10	答え 2 アヘン戦争	1840年に勃発したアヘン戦争で、大国である清がイギリスの軍事力に圧倒されて敗北したという情報は、オランダ風説書などを通じて幕府に大きな衝撃を与えました。これにより、従来の「異国船打払令」を続けて外国と武力衝突に発展することを恐れた幕府は、遭難した船などに限り薪や水を与える「薪水給与令」へと政策を転換しました。
問11	答え 3 輸出が優先されたことで国内の生糸が不足し、価格が高騰したため、国内の絹織物業が圧迫された。	海外での需要が高まり、生糸が大量に輸出された結果、日本国内の市場に出回る生糸が不足しました。これにより生糸の価格が跳ね上がり、原材料を確保できなくなった国内の絹織物業者が苦境に立たされるという経済的な混乱が生じました。
問12	答え 2 日本に関税自主権がなく、相手国に領事裁判権を認める内容	イギリスなどの欧米列強と結んだ安政の五カ国条約は、日本にとって不平等なものでした。具体的には、輸入品にかける税率を日本が自主的に決められない「関税自主権の欠如」と、外国人が日本で犯罪を犯してもその国の領事が裁判を行う「領事裁判権（治外法権）の承認」が含まれていました。この時期のイギリスは、インド大反乱を鎮圧してアジア支配を強めるなど、世界的な影響力を持っていました。
問13	答え 4 日米和親条約の締結による開港が行われ、その後、幕府に反対する勢力を弾圧した安政の大獄が起き、最終的に薩摩藩と長州藩による薩長同盟が結ばれた。	1854年の日米和親条約締結によって長年の鎖国体制が終わって開港が実現しましたが、これに反対する尊王攘夷派の動きが激化しました。1858年から1859年にかけて大老の井伊直弼がこれらの反対勢力を厳しく処罰したのが安政の大獄です。この弾圧が幕府への不信感を高めることとなり、1866年に坂本龍馬らの仲介によって、かつて対立していた薩摩藩と長州藩が薩長同盟を結び、倒幕の流れが決定的となりました。

- 問1 19世紀半ばに起こり、東アジアの国際情勢を大きく変化させたアヘン戦争の概要について、正しい記述は次のうちどれですか。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---------------------------------------|--|
| 1. イギリスと清の間で戦われ、イギリスの勝利によって東アジア諸国に衝撃を与えた。 | 2. フランスが清国内でのキリスト教布教の自由を求めて、イギリスと協力し清に勝利した。 | 3. ロシアとイギリスが清の領土をめぐる戦い、清が中立を保った戦争である。 | 4. アメリカ合衆国が日本を開国させるために、清の援護を受けてイギリスと戦った。 |
|---|---|---------------------------------------|--|
- 問2 19世紀、イギリスはインドを介して清（中国）と貿易を行う「三角貿易」の体制を築きました。イギリスからインドへは綿織物が、インドから清へはアヘンが、清からイギリスへは茶や絹がそれぞれ輸出されていましたが、これらの一連の取引において、代金の決済手段として清から流出し、最終的にイギリスへ渡っていたものは何か、次の中から選びなさい。 (2020年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|--------|
| 1. 金 | 2. 銀 | 3. 銅 | 4. 香辛料 |
|------|------|------|--------|
- 問3 日本において水野忠邦が天保の改革を進めていた1840年ごろ、世界史の年表において同時期に位置づけられる東アジアの出来事として正しいものはどれですか。 (2022年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. ロシアの南下政策を阻止しようとするイギリスとフランスが、オスマン帝国を支援して黒海周辺で戦ったクリミア戦争 | 2. イギリスが清に勝利して南京条約を結び、香港の割譲や5つの港の開港を認めさせたアヘン戦争 | 3. キリスト教の教えをもとに「太平天国」を樹立した農民たちが、清の打倒を目指して起こした大規模な反乱 | 4. 日本が清に勝利して下関条約を結び、台湾の領有や多額の賠償金の獲得を認めさせた日清戦争 |
|--|--|---|---|
- 問4 明治政府は、欧米諸国と結んでいた不平等条約を改正することを外交の最優先課題としていました。この条約のうち、日本の主権を侵害し、国内での裁判を日本の法律で行うことができないと定めていた条項の内容を説明したものとして、適切なものを選びなさい。 (2021年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 輸入品に対して日本側が自由に税率を決定することができる権利 | 2. 他国に与えた最も有利な条件を、自動的に自国にも適用させる権利 | 3. 日本国内で罪を犯した外国人を、その国の領事が自国の法律で裁く権利 | 4. 特定の地域に外国人が居住し、商業活動を行うことを認める権利 |
|----------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|
- 問5 幕末の開国にともなう貿易の開始は、日本の社会に大きな混乱をもたらしました。当時の物価と庶民の生活について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 輸出が活発になったことで、都市部の労働者の賃金も物価上昇を上回るペースで引き上げられた。 | 2. 横浜での貿易開始後、国内の品不足から物価が急騰したが、賃金が上昇しなかったため庶民の生活は苦しくなった。 | 3. 幕府が物価を安定させるために、生活必需品をすべて買い上げて庶民に安く配布する政策をとった。 | 4. 外国から安くて質の良い商品が大量に輸入されたため、物価が下落して庶民の生活は以前より豊かになった。 |
|---|---|--|--|
- 問6 江戸時代の年表において、老中・水野忠邦が天保の改革を行っていた時期に、日本の対外政策に大きな影響を与えた国際情勢として最も適切なものはどれですか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|------------------------------------|
| 1. 名誉革命によってイギリスで立憲君主制が確立し、議会政治が日本へ紹介された。 | 2. アヘン戦争で清がイギリスに敗れ、東アジアにおける欧米列強の影響力が強まった。 | 3. 南北戦争を終結させたアメリカが、太平洋航路の拠点として日本に開国を迫った。 | 4. 辛亥革命によって清が倒れ、アジアで最初の中華民国が建国された。 |
|--|---|--|------------------------------------|
- 問7 幕末の日本において、薩摩藩や長州藩が当初掲げていた「外国勢力を武力で排除しようとする思想」と、その後、現実的な国際情勢を背景に「国を開いて海外と交流を持つ方針」に変えた動きを指す言葉の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2024年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|---------------|-----------------|-------------------|
| 1. 尊王から佐幕への転換 | 2. 攘夷から開国への転換 | 3. 鎖国から版籍奉還への転換 | 4. 文明開化から国粋主義への転換 |
|---------------|---------------|-----------------|-------------------|
- 問8 1858年に結ばれた日米修好通商条約は、日本にとって不平等な内容を含んでいました。その不平等な点についての説明として正しいものはどれですか。 (2020年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 日本がアメリカに対して領事裁判権を行使できる一方で、アメリカ側に輸出入の関税を決定する権利を認めた。 | 2. 日本がアメリカ人の犯罪を日本の法律で裁く権利を確立したが、日本国内の関税をアメリカの同意なしに変更できなかった。 | 3. 外国人が日本で罪を犯しても日本の法律で裁けない「領事裁判権」を認め、日本に「関税自主権」がなかった。 | 4. 日本がアメリカから「最恵国待遇」を一方向的に受ける代わりに、アメリカにのみ自由な貿易拠点としての港を提供した。 |
|---|---|---|--|
- 問9 1858年に日米修好通商条約が締結され、横浜などの港で本格的な貿易が開始された際、当時の日本において最大の輸出額を記録していた商品は何ですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|------|-------|
| 1. 生糸 | 2. 絹織物 | 3. 茶 | 4. 綿糸 |
|-------|--------|------|-------|
- 問10 日米修好通商条約に代表される不平等条約の内容について、領事裁判権を認めたことで日本が被った実質的な不利益として最も適切な説明はどれですか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 外国から輸入される商品に対して日本側が自由に税率を決めることができず、安い外国製品が流入した。 | 2. 日本国内で事件を起こした外国人に対し、日本の警察や裁判所が日本の法律を適用して処罰できなかった。 | 3. 外国人が指定された居留地を越えて、日本国内のどこでも自由に旅行したり商売したりすることを認めざるを得なかった。 | 4. 特定の国に与えた最も有利な条件を、他の締約国に対しても自動的に適用しなければならなくなった。 |
|--|---|--|---|
- 問11 19世紀半ば、イギリスはインドで生産したアヘンを清へ密輸することで、自国の貿易赤字を解消しようとしていました。これに対し、清がアヘンの没収や破棄といった厳しい取り締まりを行ったことがきっかけで発生した戦争を何といいますか。 (2016年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-----------|---------|----------|
| 1. 辛亥革命 | 2. 甲午農民戦争 | 3. 名誉革命 | 4. アヘン戦争 |
|---------|-----------|---------|----------|
- 問12 不平等条約の条項の一つである「関税自主権の欠如」が、当時の日本の経済に与える影響について説明したものとして、最も適切なものを選択してください。 (2017年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 日本が独自の貨幣を製造することが禁止され、すべての取引を外国通貨で行う必要が生じる。 | 2. 日本からの輸出にかかる税金を日本が決めることができないため、貿易赤字が解消されなくなる。 | 3. 安価な外国製品が大量に流入した際、高い関税をかけて国内産業を保護することが難しくなる。 | 4. 外国の商人が日本で商売を行うための場所を、日本政府が自由に指定できなくなる。 |
|---|---|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 イギリスと清の間で戦われ、イギリスの勝利によって東アジア諸国に衝撃を与えた。	アヘン戦争は、アヘンの密貿易をめぐる対立からイギリスが清（中国）に仕掛けた戦争です。圧倒的な軍事力で勝利したイギリスは、清に南京条約という不平等条約を結ばせました。この結果、東アジアの伝統的な国際秩序（冊封体制）が崩壊し始め、日本などの周辺諸国は西洋列強による植民地化の脅威を身近に感じるようになりました。
問2	答え 2 銀	19世紀のイギリスは清から茶や絹を大量に輸入したため、大幅な貿易赤字に陥っていました。これを解消するため、イギリスは植民地であるインドでアヘンを栽培させて清へ密輸出させ、その代金として清から支払われた銀を回収することで、自国の貿易赤字を補填しました。この銀の流出は清の経済に大きな打撃を与え、アヘン戦争へとつながる要因となりました。
問3	答え 2 イギリスが清に勝利して南京条約を結び、香港の割譲や5つの港の開港を認めさせたアヘン戦争	日本の天保の改革（1841年～）とほぼ同時期の1840年にアヘン戦争が始まりました。この戦争で清がイギリスに敗北し、不平等な南京条約を締結したというニュースは、オランダ船などを通じて江戸幕府にも伝えられました。大国である清の敗北を知った幕府は大きな衝撃を受け、それまでの強硬な「異国船打払令」を緩和し、外国船に燃料や水を与える「薪水給与令」を出すなど、外交政策に影響を与えました。
問4	答え 3 日本国内で罪を犯した外国人を、その国の領事が自国の法律で裁く権利	領事裁判権は、本来その国が持っているはずの裁判権を他国に委ねるものであり、国家としての主権を著しく侵害する制度でした。明治政府はこの不平等を解消するため、法典の整備などを進めて近代国家としての体制を整え、1894年に陸奥宗光がイギリスとの間でこの権利の撤廃に成功しました。
問5	答え 2 横浜での貿易開始後、国内の品不足から物価が急騰したが、賃金が上昇しなかったため庶民の生活は苦しくなった。	自由な貿易が始まったことで、国内の物資が海外へ流出し、激しいインフレーション（物価高騰）が起こりました。特に米などの生活必需品の価格が数倍に跳ね上がった一方で、労働者の所得（賃金）は変わらなかったため、都市の貧困層を中心に生活が成り立たなくなりました。これが「打ちこわし」や「世直し」を求める社会運動の背景となりました。輸出増が直ちに庶民の好景気につながったわけではありません。
問6	答え 2 アヘン戦争で清がイギリスに敗れ、東アジアにおける欧米列強の影響力が強まった。	天保の改革が行われていた1840年代、東アジアではイギリスと清の間でアヘン戦争が勃発していました。この戦争で清が敗れたことは、当時の幕府にとって「アジアの大国であっても西洋の軍事力には抗えない」という強い警戒心を抱かせるきっかけとなりました。これにより、幕府は国内の引き締め（改革）と同時に、外国船に対する慎重な対応を迫られることになり、幕末の動乱期へとつながっていきました。
問7	答え 2 攘夷から開国への転換	「攘夷」とは、押し寄せる外国勢力を打ち払おうとする考え方です。長州藩は四国連合艦隊との戦争、薩摩藩は生麦事件に端を発した薩英戦争を通じて、攘夷の実行が不可能であることを学びました。これにより、両藩はこれまでの思想を捨て、倒幕や近代化のために外国と協力・交流する「開国」へと舵を切りました。この方針転換が、のちの薩長同盟や明治維新の重要な伏線となりました。
問8	答え 3 外国人が日本で罪を犯しても日本の法律で裁けない「領事裁判権」を認め、日本に「関税自主権」がなかった。	この条約では、日本国内で罪を犯した外国人をその国の領事が裁く「領事裁判権（治外法権）」を認めさせられ、さらに日本側が輸入品にかけられる税率を自主的に決める「関税自主権」が認められていませんでした。これらの条項の改正は、明治政府の長年の課題となりました。
問9	答え 1 生糸	幕末の開港後、日本の貿易では輸出が生糸、茶、次いで海産物などの順で多く、特に生糸は全輸出額の過半数を占める最大の品目でした。主な取引相手国はイギリスであり、日本からは原料（生糸）を出し、欧州からは産業革命によって大量生産された綿織物や毛織物などを輸入するという構造になっていました。
問10	答え 2 日本国内で事件を起こした外国人に対し、日本の警察や裁判所が日本の法律を適用して処罰できなかった。	領事裁判権が認められたことにより、外国人が日本人に対して暴行などの罪を犯しても、その国の領事によって裁判が行われ、軽い刑罰で済まされるといった不公平な事例が多発しました。このように自国の司法権が及ばないことは、主権国家として対等ではない不平等な状態を意味します。なお、輸入関税を決められない不利益は「関税自主権の欠如」にあたります。
問11	答え 4 アヘン戦争	イギリスは、清から輸入する茶の代金として支払っていた銀が大量に流出することを防ぐため、植民地であるインドからアヘンを清へ持ち込む「三角貿易」を行いました。清がこの密輸を禁止したことに対してイギリスが武力で応じたのがアヘン戦争です。この戦争の結果、清はイギリスに敗北して南京条約を結び、東アジアにおける伝統的な秩序が大きく揺らぐこととなりました。
問12	答え 3 安価な外国製品が大量に流入した際、高い関税をかけて国内産業を保護することが難しくなる。	関税自主権がないということは、自国の産業を守るための調整弁となる税率の設定権を他国に握られている状態を意味します。特に幕末から明治初期にかけて、安価な綿織物などが大量に輸入された際、日本は高い関税をかけて国内の生産者を守ることができず、伝統的な手工業が大きな打撃を受ける原因となりました。

- 問1 大政奉還から王政復古の一大号令に至る歴史的な背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
- 徳川慶喜は政権を返したあとも有力者として政治に参加しようとしたが、倒幕派は武力を用いてでも徳川氏を完全に排除しようとした。
 - 中央集権国家を確立するため、各地の藩主に対し、それまで領有していた土地と人民を天皇に返還させるよう命じた。
 - 欧米諸国との不平等条約を改正するために、それまでの封建的な身分制度を打破し、四民平等の社会を築こうとした。
 - 明治天皇が神に新しい政治の基本方針を誓うことで、広く公議を重んじ、知識を世界に求める姿勢を国内外に示した。
- 問2 幕末の開港に伴い、日本と欧米諸国間で「金銀交換比率」に大きな差があったことから生じた経済的影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
- 金銀の交換比率を世界基準に合わせるために幕府が銅貨を大量に発行した結果、銅の価格が急落し、主要な輸出品だった銅の貿易が途絶えた。
 - 欧米諸国から安価な金が大量に流入したことで日本国内の金貨の価値が暴落し、江戸幕府の財政は深刻なデフレーションに陥った。
 - 日本国内の金が大量に国外へ流出したため、幕府は金貨の品質を大幅に下げて交換比率を調整したが、これが激しい物価上昇を招いた。
 - 日本国内から銀が大量に流出したことで銀貨が不足し、国内の商業取引が停滞したため、幕府は海外からの銀の輸入を奨励した。
- 問3 倒幕運動が激化する過程で、それまで対立関係にあった薩摩藩と長州藩が、坂本龍馬らの仲立ちによって結んだ協力関係のことを何と言いますか。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
- 薩長同盟
 - 尊王攘夷運動
 - 日米和親条約
 - 日英同盟
- 問4 1858年に日本とアメリカの間で結ばれた条約は、日本の主権を損なう内容を含んでいたため「不平等条約」と呼ばれます。その不平等な点について、外国人が日本で犯罪を犯した際に日本側に裁く権利がないことと、日本が輸入品に対して自由に税率を決める権利がないことの組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)
- 領事裁判権を認め、関税自主権がない。
 - 関税自主権を認め、領事裁判権がない。
 - 領事裁判権を否定し、関税自主権がある。
 - 参政権を認め、関税自主権がない。
- 問5 幕末の開国に伴い、産業革命を経たイギリスから安価な綿織物が大量に輸入されるようになったことで、日本国内の経済や社会にどのような影響を与えましたか。その理由や背景を含めて説明した記述として、最も適切なものを選択してください。 (2021年 三重県公立入試 類似)
- アメリカ合衆国が国内の南北戦争により輸出を停止したため、日本国内では一時的に綿織物が不足し、物価の安定に寄与した。
 - イギリス産の綿織物が高級品として普及したため、対抗して国内の綿花生産者が大幅に増産を行い、輸出額が急増した。
 - 機械生産による安価な製品が流入したことで、手作業に頼っていた日本国内の綿作や綿織物業などの伝統的な産業が大きな打撃を受けた。
 - 通商条約によって関税が日本側に有利に設定されていたため、安価な輸入品の増加が国内産業の近代化を促す好機となった。
- 問6 19世紀半ば、イギリスが清（中国）に勝利したアヘン戦争の結果は、日本を含む東アジア諸国に大きな衝撃を与えました。この戦争が日本に与えた歴史的な影響として最も適切な説明は、次のうちどれですか。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
- イギリスと協力してロシアの南下を防ぐため、日英同盟を締結する直接のきっかけとなった。
 - 外国の侵略に対する備えが必要であるという認識が広まり、国防意識が高まる契機となった。
 - 清の支配力が強まったことで、日本は清への朝貢貿易を拡大させる方針をとった。
 - アメリカ合衆国の仲介により、日本は清とともにヨーロッパ諸国との不平等条約を改正した。
- 問7 大政奉還が行われた際の政治的背景や、その後の動きについての説明として最も適切なものはどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- 徳川慶喜は政権を返上したが、直後に倒幕派によって天皇中心の政治を宣言する王政復古の一大号令が出された。
 - 大政奉還によって徳川家の支配力はさらに強まり、江戸幕府による政治がその後も30年以上継続した。
 - 朝廷は政権を返上された直後に、徳川慶喜を新政府の最高責任者である総理大臣に任命した。
 - 大政奉還が行われたのと同時に、全国の藩を廃止して県を置く廃藩置県が即座に実施された。
- 問8 リンカーン大統領が南北戦争のさなかに行ったゲティスバーグ演説や、当時のアメリカの状況について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 奈良県公立入試 類似)
- 貴族や地主などの特権階級による政治を否定し、国民による直接民主制を導入した。
 - 南部諸州の独立を認める代わりに、奴隷制を段階的に廃止する妥協案を提示した。
 - 奴隷解放宣言を出すことで、戦争の目的が自由と平等の実現にあることを明確にした。
 - イギリスからの独立を宣言し、国王による王政から人民を解放しようとした。
- 問9 イギリスが清との貿易赤字を解消するために構築した、19世紀前半の貿易の仕組みについて説明したものとして、最も適切なものを次のの中から選びなさい。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
- 清から輸入した茶をインドへ転売し、その利益でインド産の綿織物を購入してイギリス国内に流通させることで、銀の流出を防いだ。
 - イギリスの綿織物をインドに売り、インドから清へアヘンを輸出させることで、代金としての銀が清からインド、そしてイギリスへと流れるようにした。
 - インドで生産された絹織物を清へ輸出し、清からイギリスへ直接支払われる銀の流れを止めることで、清の経済を圧迫させた。
 - イギリスの茶を清へ直接輸出し、その代金として清から大量の銀を得ることで、インドに対する綿織物の購入資金に充てた。
- 問10 日米修好通商条約などの不平等条約を改正することは、明治政府にとって長年の悲願でした。このうち、1911年に外務大臣・小村寿太郎が交渉にあたり、完全に回復することに成功した権利はどれですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
- 排他的経済水域の管轄権
 - 領事裁判権
 - 参政権
 - 関税自主権
- 問11 イギリスの産業革命期において、労働者が「労働組合」を結成し、団結して行動する必要があった背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
- 政府がすべての工場を国有化し、労働者が公務員として計画的に生産を行う仕組みを作ろうとしたため。
 - 個々の労働者では、賃金の引き上げや労働時間の短縮といった要求を経営者に認めさせることが困難だったため。
 - 機械の導入によって失業した人々が、自分たちで新しい工場を建設するための資金を出し合う必要があったため。
 - 農村で普及していた間屋制家内工業を、都市の工場労働者たちが保護・継承していく必要があったため。
- 問12 19世紀後半のアメリカ合衆国では、貿易政策や奴隷制をめぐる国内が二分されました。この対立から発展した南北戦争の最中に、第十六代大統領として「奴隷解放宣言」を出し、最終的に北部の勝利へと導いて合衆国の統一を維持した人物は誰ですか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- セオドア・ルーズベルト
 - ジョージ・ワシントン
 - リンカン
 - ジョン・F・ケネディ

答え合わせ・解説

問1	答え 1 徳川慶喜は政権を返したあと有力者として政治に参加しようとしたが、倒幕派は武力を用いてでも徳川氏を完全に排除しようとした。	大政奉還は徳川慶喜が主導権を握り続けるための策でもありましたが、これに対して岩倉具視や薩摩・長州の両藩は、天皇を中心とした強力な中央集権体制を作るために、旧幕府の権力を完全に絶つ宣言を行いました。これが王政復古の号令です。他の選択肢は五箇条の御誓文、版籍奉還、四民平等の説明に該当します。
問2	答え 3 日本国内の金が大量に国外へ流出したため、幕府は金貨の品質を大幅に下げて交換比率を調整したが、これが激しい物価上昇を招いた。	金の流出を食い止めるため、幕府は金貨に含まれる金の量を減らす（万延小判への改鑄）ことで、金と銀の交換比率を国際基準（1：15）に近づけようとした。しかし、貨幣に含まれる金の量が減ったことで、貨幣そのものの価値が下がり、国内では激しいインフレーション（物価上昇）が発生することとなり、人々の生活を苦しめました。
問3	答え 1 薩長同盟	幕府を打倒するために、土佐藩出身の坂本龍馬や中岡慎太郎の仲介により、長州藩の木戸孝允（桂小五郎）と薩摩藩の西郷隆盛らが軍事同盟を結びました。この提携が大きな力となり、後の大政奉還や明治維新の達成へとつながりました。
問4	答え 1 領事裁判権を認め、関税自主権がない。	領事裁判権（治外法権）を認めることは、日本国内での外国人による犯罪をその国の領事が裁くことを意味し、日本の裁判権が及ばない不利な条件でした。また、関税自主権がないことにより、日本は安価な外国製品に適切な税をかけることができず、国内産業の保護が困難になるという経済的な不利益を被りました。
問5	答え 3 機械生産による安価な製品が流入したことで、手作業に頼っていた日本国内の綿作や綿織物業などの伝統的な産業が大きな打撃を受けた。	イギリスは産業革命によって、綿織物の大量生産と低価格化を実現していました。こうした安価な製品が通商条約に基づいて日本に大量に流入した結果、それまで伝統的な手工業や農村の家内工業として行われていた日本の綿織物生産は、価格競争に敗れて産業の打撃を受けることとなりました。これは当時の日本の経済混乱や物価上昇の一因となりました。
問6	答え 2 外国の侵略に対する備えが必要であるという認識が広まり、国防意識が高まる契機となった。	アヘン戦争において、当時大国と考えられていた清が近代的な軍事力を持つイギリスに敗北した事実は、江戸時代の日本に強い危機感を与えました。これにより、従来の異国船打払令を緩めて燃料や食料を与える薪水給与令を出す一方で、沿岸警備の強化や西洋式の軍事技術の導入など、外国の侵略に備える動きが本格化しました。
問7	答え 1 徳川慶喜は政権を返上したが、直後に倒幕派によって天皇中心の政治を宣言する王政復古の号令が出された。	徳川慶喜は大政奉還によって徳川家の政治的影響力を残そうとしましたが、岩倉具視や薩摩藩・長州藩などの倒幕派は、徳川家を完全に排除した新政府の樹立を目指しました。そのため、大政奉還のすぐ後に「王政復古の号令」を出し、幕府の廃止と天皇中心の新しい政治の開始を宣言しました。
問8	答え 3 奴隷解放宣言を出すことで、戦争の目的が自由と平等の実現にあることを明確にした。	リンカーンは1863年に奴隷解放宣言を行い、北部の戦う大義名分を「連邦の維持」だけでなく「奴隷制の廃止」へと拡大させました。ゲティスバーグ演説はその直後に行われ、人民が主権を持つ政治の重要性を強調することで、国内外の支持を得る狙いもありました。独立宣言や国王からの解放は18世紀の独立戦争時の出来事です。
問9	答え 2 イギリスの綿織物をインドに売り、インドから清へアヘンを輸出させることで、代金としての銀が清からインド、そしてイギリスへと流れるようにした。	当初、イギリスは清から茶や絹織物を大量に輸入していましたが、清がイギリス製品をあまり必要としなかったため、支払いのための銀がイギリスから清へ大量に流出していました。そこでイギリスは、植民地のインドを介入させ、インド産のアヘンを清に、イギリス産の綿織物をインドに売ることで、商品の代金（銀）が逆方向に流れる仕組みを作り、貿易赤字を解消しようとした。
問10	答え 4 関税自主権	条約改正は二段階で進みました。まず1894年に陸奥宗光が領事裁判権（治外法権）の撤廃に成功しました。その後、日露戦争を経て日本の国際的地位が高まった1911年、小村寿太郎がアメリカをはじめとする各国と交渉し、自国で関税率を決定できる「関税自主権」を完全に回復したことで、幕末以来の不平等条約は完全に解消されました。
問11	答え 2 個々の労働者では、賃金の引き上げや労働時間の短縮といった要求を経営者に認めさせることが困難だったため。	工業化が進む中で、資本家は利益を優先して労働者を安く長く働かせようとした。労働者一人が抗議しても解雇される恐れがありましたが、組合を作って集団でストライキなどを行うことで、経営者と対等に交渉する権利を勝ち取ろうとしたのです。
問12	答え 3 リンカン	アメリカ合衆国第十六代大統領であるリンカーンは、1861年に始まった南北戦争において、戦況を有利にするため、また戦争の目的を人道的正義に結びつけるために1863年に奴隷解放宣言を行いました。これにより国内外の支持を集め、工業化が進んでいた北部の勝利と、国家の分裂回避に大きく貢献しました。

- 問1 室町時代に京都で発生した応仁の乱では、それまでの戦い方とは異なる特徴を持つ「足軽」が活躍しました。この足軽に関する記述として、歴史的な背景を踏まえた正しいものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 主に徒歩で戦う歩兵であり、集団での戦闘や略奪を行うなど、戦乱による社会の混乱を象徴する存在であった。 | 2. 江戸時代末期に「ええじゃないか」の騒動を鎮圧し、開国による混乱を収めるために幕府が雇った傭兵であった。 | 3. 藤原道長による摂関政治を軍事面から支えるために組織された、貴族専属の精鋭部隊であった。 | 4. 一遍の教えに感銘を受けた農民たちが、平和な世の中を実現するために自発的に結成した自衛組織であった。 |
|---|--|--|--|
- 問2 1854年に日米和親条約が結ばれた際、開港地に指定された港町の一つでありながら、同年に発生した安政東海地震の大津波によって深刻な被害を受けた伊豆半島の地名はどこですか。 (2021年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 長崎 | 2. 浦賀 | 3. 下田 | 4. 函館 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問3 1854年に締結された日米和親条約の内容と、その背景について説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. アメリカとの間で本格的な自由貿易を開始し、幕府が関税自主権を確保することを目的とした。 | 2. 長崎に加えて新たに下田・函館を開港し、キリスト教の布教を正式に許可することを目的とした。 | 3. 漂流民の救助や、船の航行に不可欠な薪水・食料を供給することを主な目的とした。 | 4. 外国船の排斥を定めた「異国船打払令」をさらに強化し、沿岸の警備を厳重にすることを目的とした。 |
|--|---|---|---|
- 問4 江戸時代の年表において、老中・水野忠邦が天保の改革を行っていた時期に、日本の対外政策に大きな影響を与えた国際情勢として最も適切なものはどれですか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|------------------------------------|--|
| 1. アヘン戦争で清がイギリスに敗れ、東アジアにおける欧米列強の影響力が強まった。 | 2. 名譽革命によってイギリスで立憲君主制が確立し、議会政治が日本へ紹介された。 | 3. 辛亥革命によって清が倒れ、アジアで最初の中華民国が建国された。 | 4. 南北戦争を終結させたアメリカが、太平洋航路の拠点として日本に開国を迫った。 |
|---|--|------------------------------------|--|
- 問5 1854年に江戸幕府がアメリカと結んだ日米和親条約では、アメリカ船の寄港地を確保するために伊豆半島と蝦夷地の2か所の港が開港されました。このうち、伊豆半島に位置する港の名前とその役割の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 浦賀 ― 江戸の防衛を強化し、通商条約の交渉を行うため | 2. 長崎 ― オランダとの貿易を継続し、キリスト教の布教を認めるため | 3. 函館 ― 生糸や茶を輸出し、外国の進んだ技術を導入するため | 4. 下田 ― 漂流民の保護や、薪水・食料などを供給するため |
|--------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
- 問6 18世紀から19世紀にかけて、イギリス・清・インドの間で行われた貿易構造の変化について、その背景と目的を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. イギリス国内での綿織物の需要拡大を背景に、清へ直接工業製品を売り込むことで貿易黒字を目指した。 | 2. 清との貿易を有利に進めるため、イギリスはインドを仲介させて銀を日本へ運び、日本から茶を輸入する仕組みを作った。 | 3. 清から茶を輸入する代価として銀が流出したため、インド産のアヘンを清に売ることで銀を回収し赤字を解消しようとした。 | 4. インド産の茶を清に輸出するルートを確認し、清が保有する大量の銅銭をイギリス本国へ運ぶことを目的とした。 |
|--|--|---|--|
- 問7 1840年に発生したアヘン戦争において、清がイギリスに敗北したという知らせは、当時の江戸幕府に大きな衝撃を与えました。これを受けて幕府は、1825年に出された「外国船を見つけ次第攻撃する」という強硬な方針を改め、遭難した外国船に燃料や食料を分け与える方針を決定しました。この1842年に出された法令を何といいますか。 (2016年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|-----------|----------|
| 1. 日米和親条約 | 2. 武家諸法度 | 3. 異国船打払令 | 4. 薪水給与令 |
|-----------|----------|-----------|----------|
- 問8 1860年代の横浜港における貿易品目の特徴と、当時の貿易収支の状況について説明した文として、正しいものはどれですか。なお、当時の横浜港では、ある品目が輸出の65.1%を占め、別の品目が輸入の52.8%を占めていました。 (2017年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 輸出品は茶、輸入品は武器が中心であり、輸入額が輸出額を上回る輸入超過の状態であった。 | 2. 輸出品は生糸、輸入品は綿織物が中心であり、輸出額が輸入額を上回る輸出超過の状態であった。 | 3. 輸出品は生糸、輸入品は綿織物が中心であり、輸入額が輸出額を上回る輸入超過の状態であった。 | 4. 輸出品は綿織物、輸入品は生糸が中心であり、輸出額が輸入額を上回る輸出超過の状態であった。 |
|---|---|---|---|
- 問9 イギリスの外交官アーネスト・サトウが通訳を務めた、江戸幕府最後の将軍は誰ですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 徳川慶喜 | 2. 徳川吉宗 | 3. 徳川家定 | 4. 徳川家茂 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問10 南北戦争の最中、リンカーン大統領が北部側の正当性を国内外に示すために発表し、戦局を有利に進めるきっかけとなった宣言はどれですか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|----------|-------------|-----------|
| 1. アメリカ独立宣言 | 2. 権利の章典 | 3. フランス人権宣言 | 4. 奴隷解放宣言 |
|-------------|----------|-------------|-----------|
- 問11 幕末の開国後、日本と諸外国の間で金銀の交換比率が異なっていたため、大量の金が海外へ流出しました。この事態に対し、江戸幕府が金の流出を防ぐために行った対策と、それが社会に与えた影響の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2022年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 貨幣に含まれる金の量を増やした万延小判を発行したが、通貨不足となり深刻な不況を招いた。 | 2. 諸外国に合わせた金銀交換比率の変更を求めたが、拒否されたため、結果として国内の金銀価値が逆転した。 | 3. 貨幣に含まれる金の量を大幅に減らした万延小判を発行したが、貨幣価値が下がり激しい物価高騰を招いた。 | 4. 外国貨幣の使用を厳しく制限したが、密貿易が増加して江戸の物価が下落した。 |
|--|--|--|---|
- 問12 一八五三年に、マシュー・ペリー率いるアメリカの東インド艦隊が、江戸幕府に開国を求める親書を携えて来航した場所はどこですか。相模湾に面した三浦半島の先端付近に位置する、当時の外交上の重要地点の名称を答えなさい。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 函館 | 2. 浦賀 | 3. 長崎 | 4. 下田 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問13 幕末から明治時代にかけて日本に駐在したイギリスの外交官で、卓越した日本語能力を活かして第15代将軍である徳川慶喜の通訳を務めたほか、日光の魅力を紹介するガイドブックを刊行するなど、日本の文化を海外に伝えた人物は誰ですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|---------------|-------------------------|--------------|
| 1. ハリー・パークス | 2. タウンゼント・ハリス | 3. フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト | 4. アーネスト・サトウ |
|-------------|---------------|-------------------------|--------------|
- 問14 1861年から始まったアメリカの南北戦争の最中、ゲティスバーグでの演説において「人民の、人民による、人民のための政治」という言葉を述べ、民主主義の原点を示した大統領は誰ですか。 (2018年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|------------------|---------------|---------|
| 1. トマス・ジェファソン | 2. フランクリン・ルーズベルト | 3. ジョージ・ワシントン | 4. リンカン |
|---------------|------------------|---------------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 主に徒歩で戦う歩兵であり、集団での戦闘や略奪を行うなど、戦乱による社会の混乱を象徴する存在であった。	室町時代中期の応仁の乱では、特定の主君を持たず、報酬目的で動員された「足輕」と呼ばれる歩兵が戦いの中心的な役割を果たしました。彼らは従来の騎馬武者による一騎打ち形式の戦いを一変させ、集団戦や市街地での放火・略奪を行うなど、社会の無秩序化を加速させました。これは、家柄や伝統を重んじる中世的な秩序が崩れ、実力主義の下剋上の時代へと移行する過渡期の現象と言えます。
問2	答え 3 下田	日米和親条約によって即時の開港が定められたのは、静岡県の下田です。しかし、条約締結と同じ1854年（安政元年）には巨大地震である安政東海地震・安政南海地震が立て続けに発生しました。下田は地震による津波の直撃を受け、町の大半が流出するなど壊滅的な被害を受けました。歴史の年表と当時の自然災害の記録を照らし合わせると、開国の混乱の中に大規模な震災が重なっていたことがわかります。
問3	答え 3 漂流民の救助や、船の航行に不可欠な薪水・食料を供給することを主な目的とした。	アメリカが日本に開国を迫った背景には、北太平洋での捕鯨船の補給基地や、中国へ向かう蒸気船の寄港地を確保したいという狙いがありました。そのため、日米和親条約は「貿易」を目的としたものではなく、遭難した乗組員の保護や、燃料（薪）・水・食料の補給を認める内容が中心となっていました。本格的な貿易が認められるのは、1858年の日米修好通商条約を待つこととなります。
問4	答え 1 アヘン戦争で清がイギリスに敗れ、東アジアにおける欧米列強の影響力が強まった。	天保の改革が行われていた1840年代、東アジアではイギリスと清の間でアヘン戦争が勃発していました。この戦争で清が敗れたことは、当時の幕府にとって「アジアの大国であっても西洋の軍事力には抗えない」という強い警戒心を抱かせるきっかけとなりました。これにより、幕府は国内の引き締め（改革）と同時に、外国船に対する慎重な対応を迫られることになり、幕末の動乱期へとつながっていきました。
問5	答え 4 下田 ― 漂流民の保護や、薪水・食料などを供給するため	日米和親条約は、ペリーの来航を受けて締結された条約です。この条約により、日本は長年の「鎖国」政策を転換し、伊豆半島の下田と蝦夷地の函館の2港を開港しました。ここでの主な目的は本格的な貿易ではなく、遭難した乗組員の救助や、捕鯨船などに必要な燃料（薪水）や食料、飲料水を供給することにあります。長崎は江戸時代を通じてオランダや中国との窓口となっていました。この条約の時点では、地理的な利便性から下田と函館が新たな窓口として選ばれました。
問6	答え 3 清から茶を輸入する代価として銀が流出したため、インド産のアヘンを清に売ることによって銀を回収し赤字を解消しようとした。	18世紀のイギリスは清からの「茶」の輸入過多により「銀」が流出する貿易赤字の状態にありました。これを打破するため、19世紀にはインドから清へ「アヘン」を送り、清から流出する銀を茶の代金に充てる三角貿易を形成しました。この仕組みにより、イギリスは銀の流出を抑え、貿易の主導権を握ることに成功しました。
問7	答え 4 薪水給与令	アヘン戦争での清の敗北を知った江戸幕府は、イギリスなどの強大な軍事力を持つ西洋列強との武力衝突を避ける必要があると判断しました。そのため、それまでの方針であった異国船打払令を撤回し、漂着した外国船に対して薪（燃料）や水、食料を供給して穏やかに退去させる「薪水給与令（天保の薪水給与令）」を出し、対外政策を一時的に和らげました。
問8	答え 2 輸出品は生糸、輸入品は綿織物が中心であり、輸出額が輸入額を上回る輸出超過の状態であった。	幕末の貿易において、日本の最大の輸出品は生糸であり、次いで茶などが挙げられます。一方で輸入品は綿織物や毛織物といった衣類原料が中心でした。1860年から1867年にかけての輸出入額の推移を見ると、一貫して日本の輸出額が輸入額を上回っており、この状態を輸出超過と呼びます。この貿易構造は、国内の物資不足や物価高騰を招く一因ともなりました。
問9	答え 1 徳川慶喜	アーネスト・サトウが通訳を担当したのは、江戸幕府第15代将軍の徳川慶喜です。サトウは、大坂城で慶喜とイギリス公使パークスが会見した際などに通訳として同席しました。サトウは慶喜の知性を高く評価しており、その回想録の中では、慶喜が西洋の事情を理解しようとする姿勢や、当時の国際情勢における幕府の立場を説明する様子が記されています。
問10	答え 4 奴隷解放宣言	1863年に出されたこの宣言は、南部連合支配地域の奴隷を解放することを命じたものです。これにより、戦争の目的が「連邦の維持」だけでなく「奴隷制の廃止」という人道的な大義名分を持つようになり、奴隷制に批判的だったイギリスなどの欧州諸国が南部を支援することを困難にさせました。
問11	答え 3 貨幣に含まれる金の量を大幅に減らした万延小判を発行したが、貨幣価値が下がり激しい物価高騰を招いた。	諸外国の金銀交換比率が「金1：銀15」程度であったのに対し、当時の日本は「金1：銀5」程度と金が安く評価されていました。そのため、海外から銀を持ち込んで日本の金貨（小判）に交換し、それを海外に持ち出すことで多額の利益を得る者が現れ、金の流出が加速しました。幕府はこれに対抗して、小判の金の含有量を大幅に減らした万延小判を発行し、1枚の価値を低くすることで交換比率を国際水準に合わせようとした。しかし、貨幣1枚あたりの実質的な価値が低下したことで、市場では商品に対してより多くの貨幣が必要となり、1860年代半ばにかけて米や塩などの諸物価が数倍に跳ね上がる激しいインフレーションを引き起こしました。
問12	答え 2 浦賀	当時のアメリカは、中国との貿易を拡大させる過程で、太平洋を横断する蒸気船の中継地（石炭や水の補給拠点）や、捕鯨船の保護を目的として日本の開国を求めています。ペリーは、江戸に近い三浦半島の浦賀に黒船で現れることで、幕府に強力な軍事的圧力をかけ、長年の鎖国政策を転換させる契機となりました。
問13	答え 4 アーネスト・サトウ	アーネスト・サトウは、幕末の動乱期にイギリス公使館の通訳官として来日しました。彼は単なる通訳の枠を超え、徳川慶喜をはじめとする幕府の要人や、薩摩・長州といった有力藩閥の武士たちとも接触し、現地の情勢を本国に詳しく報告する重要な役割を担いました。また、日本文化への造詣も深く、日光の観光ガイドブックを執筆するなど、黎明期の日本観光や文化交流にも寄与しました。
問14	答え 4 リンカン	19世紀半ばのアメリカ合衆国では、奴隷制の存廃や貿易政策の相違から、北部と南部の対立が激化し、南北戦争が勃発しました。北部を率いたリンカンは、戦争の目的が単なる領土の維持だけでなく、自由と民主主義を守ることにありと演説で強調し、後に「奴隷解放の父」とも称されるようになりました。